

| 富山県看護連盟 研修会報告 | | 開催日 | 2022年10月23日(日) |
|---|--|-----|------------------|
| | | 時間 | 10:00～11:40 |
| | | 場所 | 富山県看護研修センター第2研修室 |
| 研修会名 | 令和4年度 富山県看護連盟 OB支部会員研修 | | |
| 内容 | 講演 「第26回参議院議員選挙結果について」 講師 富山県看護連盟 会長 大井きよみ グループワーク | | |
| 参加人数 | 17名 | | |
| 【研修会内容】 10:00～10:50 講演「第26回参議院議員選挙 友納理緒氏の得票結果について」 講師:富山県看護連盟会長 大井きよみ 主な内容 <ul style="list-style-type: none"> ・富山県看護連盟の会員数は4635人。(2022.3月現在) ・富山県の得票数は5319票で全国で9位。トップ10に入ったのは初めてである。 ・対連盟会員比率は114.8%で、得票数が連盟会員数を超えた。 ・期日前投票率は1.9ポイント上昇した。 ・市町村別では富山市、氷見市を除く13市町村で100%を超えた。 ・得票数の増加した要因の10項目を資料にて説明を受ける。 ・看護職156万人の賃金アップ実現の選挙であった。危機感でこころが一つになった選挙であった。 10:50～11:00 休憩 11:00～11:40 ○情報交換・意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・入会のはがきは良かった。会報も良かった。 ・OBはOBの役割が多くあると思う。しがらみが無く自由に動くことが出来るのではないかな。 ・年齢的に上に上がると気分が楽になった。電話をもらとうれしい。 ・看護師、弁護士ということを伝える時、未来があり明るいと思った。 ・職種によって受け入れが難しかった。 ・選挙に行くのが当たり前であったが、社会人として教育が必要と思った。 ・看護師の数からみて得票数の少ないのにおどろいた。 ・親戚、OB、知り合いに声をかけ、力を入れてきたつもり。終わった後脱力感があった。 連盟役員の方 <ul style="list-style-type: none"> ・事実を伝えることが大事。危機感を感じているんなところに行き頼んだ。SNSも用いて。 ・グループラインで他の人の情報を知り、じっとしておれないことを知りました。 ・電話作戦はどう効果的にするか、絞り込む必要があると思う。 ・皆さんが動き、すごい組織だなと思いました。行政、政治の力は話せばわかってくださった。 大井会長 <ul style="list-style-type: none"> ・現場の声を大事にしなければいけない。その声を伝えるところは看護連盟。 ・施設訪問を中心に活動していけば良い。 ○終わりに <ul style="list-style-type: none"> ・今回の研修を終えて、今後どう取り組んでいくか、また考えて行かなければならない。 ・賛助会員の入会促進をお願いします。 【まとめ】 <ul style="list-style-type: none"> ・第26回参議院議員選挙の振り返りをすることができ、大変有意義で貴重な研修でした。詳細な数値で教えて頂き、全体像で少しでも把握することが出来ました。また今回の出席の方々の細かな意見を聞くことが出来、今後の活動への一助と思いました。 | | | |
| 報告者 稲荷弘美 | | | |